

日本保健医療社会学会ニューズレター (No.96) 2014/12/23

目次

1. 第41回日本保健医療社会学会大会発表申し込みについて (重要)
2. 第41回日本保健医療社会学会大会のご案内 (続報)
3. 役員選挙について
4. 理事会報告
5. 定例研究会報告 (関東)
6. 定例研究会報告 (関西)
7. 看護・ケア研究部会報告
8. 渉外・国際交流活動報告
9. 編集後記

1. 第41回日本保健医療社会学会大会発表申し込みについて (重要)

第41回大会 (2015年5月16~17日) の、一般演題およびRTDの申し込みは、2015年1月9日 (金) までです。詳しくは、<http://square.umin.ac.jp/medsocio/conf2015/> をご覧ください。一般演題 (口頭報告およびポスター報告) はHPから申し込めます。一般公募RTDは指定のアドレスへご連絡ください。

一般演題・RTDともに、発表者 (共同演者含む) は本学会の会員に限ります。単年度会員制度も設けておりますし、大会報告のために新たに会員になる際には2015年度からの会員登録で構いません。非会員で報告をご希望の方は、事前に所定の手続きをお願いいたします。

発表内容は未発表のものに限り、また一般演題の登録は1人につき1演題とします。共同演者としての登録はこの限りではありません。

一般演題申し込み締め切りについては、例年より1か月ほど早まっておりますので、ご注意ください。会員の皆様からの積極的なお申し込みをお待ちしております。

(三井理事：総務)

2. 第41回日本保健医療社会学会大会のご案内 (続報)

第41回大会 (2015年5月16~17日) は、首都大学東京・荒川キャンパスで開催されます。テーマは「生活モデルへの転換」としました。この20年の間に医療における価値は劇的に変化してきており、病院中心の医療から地域での生活に基づいたものへと転換しつつあります。これは、日本における保健医療社会学が重視してきたことでもあります。あまりに劇的な変化が進んでおり、私たちが前提としてきたことのいくつかを問い直す必要があります。今後の展望を描くためにも、いま一度この20年間の変化を振り返ることが必要ではないでしょうか。何が変わり、何が変わらなかったのか、本当はどう変わるべきだったのか。皆様と一緒に考えたいと思っています。

シンポジウム「この20年で医療はどう変化したか? —生活モデル/セルフケア/自己決定」では、猪飼周平先生 (一橋大学) ・松繁卓哉先生 (国立保健医療科学院) ・田代志門先生 (昭和大学) を呼び寄せて問題提起していただき、司会の吉田澄恵先生 (東京女子医科大学)

のもと、討論者の美馬達哉先生（京都大学）・戸ヶ里泰典先生（放送大学）を交えて議論できればと思います。

教育講演「人工呼吸器から見える医療／家庭／社会」では、大森健先生（IMI）から、在宅での人工呼吸器使用の現状や、そこにかかわる医療・福祉制度の問題、医療機器を取り巻く状況などについて、ご講演いただきます（司会は鷹田佳典先生（早稲田大学））。

〈事前申し込みについて〉

例年通り、事前申し込みを受け付ける予定です（今年度からは大会 HP から申し込めるようにします）。参加費が 1,000 円安くなりますので、ぜひご活用ください。なお、事前申し込み期間を過ぎてからの振込については当日受付と同じ額をいただきますのでご注意ください。

（三井理事：総務）

3. 役員選挙について

日本保健医療社会学会役員選挙公示

2014 年 12 月 18 日

選挙管理委員：井上洋士・鷹田佳典

「日本保健医療社会学会規約」および「役員選出に関する内規」に基づき、次期の理事 7 名、監査 2 名の選挙を、下記の日程で行います。この時期の学会からの郵便物にはご注意のほど、よろしくお願い申し上げます。

なお、「役員選出に関する内規」第 2 条に基づき、2014 年度までの会費を 2015 年 1 月末日までに納入頂かないと、選挙権および被選挙権がありませんので、会費未納の方は、それまでに会費納入のほどをよろしくお願い申し上げます。

また、役員選挙についてのお問い合わせは、e-mail (jshms-office@bunken.co.jp) または Fax (03-3368-2822) にて学会事務局までお願い致します。

〔記〕

有権者名簿・投票用紙の発送：2015 年 2 月 10 日(火)頃

投票締切：2015 年 2 月 28 日(金)(当日消印有効)頃

(以上)

4. 理事会報告

2014 年度第 3 回理事会議事録

日時：2014 年 12 月 14 日（日） 13：00～17：00

会場：(株)国際文献社 アカデミーセンター 4 階会議室

出席者：黒田会長、三井理事、小澤理事、朝倉理事、池田理事、木下理事、清水理事、進藤理事、林理事、金子理事、事務局 平野（記）

〈学会事務担当前任者の不祥事について〉

・事務局担当前任者の不祥事について学会事務委託先より不祥事の発生と再発防止について報告がなされた。不正行為発覚後、迅速に社内にて調査委員会を設置し内部調査、被害拡大防止策の実施を行うとともに専門的かつ客観的な見地からの調査が必要と判断し、第三者機関と連携し、不正調査、事実解明と再発防止、業務改善を行い、現在、新しい業務フローで

の運用を開始されていること、策定した仕組作りに留めず、引き続き、業務監査を外部機関に委託し、万全の体制での運用に努めていること、発覚から現在までの業務改善の実施状況及び今後の取り組みについて報告がなされた。

4. 1 2014年度 前期予算執行状況 (三井)

・三井理事より11月30日時点の中間報告がなされた。

4. 2 第41回大会について (三井)

・三井理事より第41回大会の進捗状況について報告がなされた。例年通り、ポスターは第1弾と第2弾を作成し、既に第1弾ポスターは首都圏の関係大学に発送していることが伝えられた。大会の大まかなスケジュールも報告された。

・大会開催校側の業務負担を軽減するために、第41回大会から発生する費用として、参加申し込みシステム、参加証・領収書、口座開設費、webメール、部会編成会議交通費、要旨集編集作業の編集事務局委託費があると伝えられ、すべて承認された。また、研究活動理事4名と金子理事、三井理事(大会開催校側)の6名で拡大研究活動委員会を設置し、部会分け等の取りまとめ役を木下理事にお願いすることとなった。

4. 3 役員選挙について (黒田)

・黒田会長より、役員選出に関する内規案について提案がなされ、現状に合わせて内規の変更がなされた。選挙管理委員については、井上洋士先生と鷹田佳典先生にお願いすることとなった。

4. 4 ニューズレター96号の配信について (池田)

・池田理事より次号のニューズレターは、41回大会の一般演題等の締切や、役員選挙に関する会員への注意喚起の為、12月22日発行予定とすることが伝えられた。

・また、研究会時代のニューズレター電子化については年度や資料体の期間を整理して、同量程度の容量になるように複数のファイルに分ける方法が提案され、承認された。

・過去のニューズレター電子化に関する案件は広報担当理事と総務担当理事、事務局とで作業を進め、理事会にて報告していくこととなった。

4. 5 編集委員会報告 (小澤・朝倉)

・小澤理事より9月末締切の投稿論文について投稿論文5本(原著4本、研究ノート1本)について担当者と査読者が決定されたことが報告された。

・25巻2号は2015年1月末刊行予定で、大会特集7本、原著1本、研究ノート2本、書評2本が掲載予定であることが伝えられた。また、26巻1号の特集について在宅医療、在宅ケアに関する特集を行うこととなったことが報告された。

・第41回大会時1日目の午前中に投稿論文についてのプレセミナーを開催し、午後に新旧引き継ぎの編集委員会を開催することが伝えられた。

・2016年度からのJ-STAGE Liteへの移行については次期編集委員会へ引き継ぐこととなった。

4. 6 定例研究会の報告(関東) (清水・木下)

・清水理事より第1回定例研究会(関東)は9月6日に青木美紀子先生を講師として開催したことが伝えられた。第2回は2015年2月28日に、すぎむらなおみ先生をお招きし開催する予定であることが伝えられた。

4. 7 定例研究会の報告(関西) (進藤・林)
- ・進藤理事より第1回定例研究会(関西)は11月8日に開催され、参加者が10名前後であったことが報告された。第2回は関東定例研究会と同日の2015年2月28日に西村ユミ先生を講師とし、大阪市立大学梅田キャンパスにて開催されることが伝えられた。
4. 8 看護・ケア研究部会の報告(朝倉)
- ・朝倉理事より11月15日に西原かおり先生をお招きし、定例会を開催したことが報告された。次回は1月10日に開催し、終了後に懇親会を予定していることが伝えられた。
4. 9 渉外・国際交流活動の報告(金子)
- ・金子理事より国際社会への情報発信策として学会ウェブサイトの英語版に『保健医療社会学論集』論文の英語題目を掲載するとし、現在、デジタル化した英語題目ファイルを委員やアドバイザーでチェックをしていることが報告された。今後は大会のメインテーマやシンポジウムテーマの英訳を企画者に依頼したいことを編集委員会に依頼し、次回以降、取り入れることとなった。
4. 10 園田賞選考委員会について
- ・園田賞選考委員会が選出された。
4. 11 国際文献社への事務委託契約更新について
- ・契約書案を確認し、多少の文言修正を行い、次年度は契約を更新することとした。また、契約書の学会保管分は会長が保管することとし、次期会長に引き継いでいくこととなった。次回理事会までに大会と編集の契約書について確認することとした。
4. 12 次期理事会への引き継ぎ事項について
- ・黒田会長より次期理事会への引き継ぎ事項を書面で行うこととし、内容が検討された。
4. 13 その他
- ・通常会員1名の入会が承認された。

(三井理事：総務)

5. 定例研究会報告(関東)

- ・2014年度第2回定例研究会(関東)のご案内

日時：2015年2月28日(土) 14:00~16:00

場所：首都大学東京秋葉原サテライトキャンパス会議室A・B(秋葉原ダイビル13階)

http://www.tmu.ac.jp/university/campus_guide/access.html#mapakihabara

報告者：すぎむらなおみ先生(公立高等学校 養護教諭)

タイトル：「学校におけるケアの現状と課題」

ケア提供者のおかれている位置と周囲の評価」

内容:子どもが多くの時間を過ごす家庭や学校は子供たちの健康にも多面的な影響を及ぼすと考えられています。学校で子どもの健康に大きな役割を持つのが養護教諭であるが、これまでその活動や役割について本学会でも取り上げられる機会が少なかったと思われます。そこで、今回の定例研究会では「養護教諭の社会学」(名古屋大学出版会)を上梓されたすぎむらなおみ先生から、性暴力、いじめといった具体的な事案も交えながら学校でケアを提供する養護教諭の支援の困難さ等についてお話しいただく予定です。多くの皆様の出席をお待ちしています。

(清水理事・木下理事：研究活動理事・関東)

6. 定例研究会報告 (関西)

- ・2014年第2回定例研究会(関西)のご案内

日時:平成27年2月28日(土)13:30~16:30

場所:大阪市立大学梅田キャンパス(駅前第2ビル6階)

<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/institution/bunko/index.html>

報告者:西村 ユミ先生(首都大学東京)

テーマ:「**看護師に学ぶ協働実践の知——現象学と看護学の対話から**」

内容:本学会において現象学を用いた研究を常にリードされている西村ユミ先生をお招きし、近著「看護師たちの現象学」(青土社)のテーマでもある協働実践の知を中心にお話いただきます。お話の中では、この著書が現象学と看護学とのどのような「対話」の中で生み出されたのか、研究方法論についても触れていただきます。多数のご参加をお待ちしております。

(進藤理事・林理事:研究活動理事・関西)

7. 看護・ケア研究部会報告

7. 1 看護・ケア研究部会 1月定例会

日時:1月10日(土)14:30~17:00(開始時間にご注意ください)

終了後、新年会を予定しています。

場所:国立社会保障・人口問題研究所 第4会議室

発表者:三浦恵美さん(東北大学大学院)

発表テーマ:「**看護師長が認識する successful な部署運営(仮)**」

※開催場所の地図は以下をご覧ください。

<http://www.ipss.go.jp/pr-ad/j/info-j/map.html>

※交通案内

都営三田線 内幸町(A6 出口)徒歩3分

営団丸の内線 霞ヶ関(B2 出口)徒歩7分

営団日比谷線 霞ヶ関(A10 出口)徒歩7分

営団千代田線 霞ヶ関(C4 出口)徒歩5分

JR 新橋 日比谷口 徒歩12分

7. 2 看護・ケア研究部会 11月定例会報告 要旨

日時:11月15日(土)13:00~15:30

場所:国立社会保障・人口問題研究所 第4会議室

報告者:西原かおりさん(神戸医療福祉大学)

発表テーマ:「**高齢者自身をもつ性意識と高齢者のイメージと**

看護師がもつ高齢者に対する性意識と高齢者のイメージ」

内容:病院に通院する高齢者とその病院に勤務する看護師がもつ「高齢者の性意識」と「高齢者のイメージ」の差を比較した調査結果の検討を行った。調査対象者数と調査病院の地域が限られていたため信憑性にかけていること、文献検討の再確認、表現の仕方などのアドバイスがあった。また、調査結果から「看護師がもつ高齢者に対する

る性意識の思い」が肯定的でない意見が一部あったことが明らかになった。討論の中で今後、看護師の「高齢者に対する性意識の受け止め方」「高齢者の QOL の向上の図り方」「看護教育の再確認」などの課題が示唆された。報告後、ジェンダーの問題について、討論が行われた。

日本保健医療社会学会 看護・ケア研究部会

2014～2015 年度役員

会長・中村美鈴、副会長・朝倉京子、会計・松繁卓哉、庶務・白瀬由美香（事務局）

e-mail: shirase-yumika@ipss.go.jp（事務局）

（朝倉理事：看護・ケア研究部会）

8. 渉外・国際交流活動報告

8. 1 国際交流

細田満和子会員がこの度の ISA (International Sociological Association) の RC15 (Sociology of Health) 理事選挙で当選しました。RC15 の日本人理事は、姉崎正平名誉会員と細田満和子会員の 2 人となりました。

8. 2 社会学系コンソーシアム

日本学術会議社会学委員会・社会学系コンソーシアム共催シンポジウムが、2015 年 1 月 24 日（土）14～17 時に日本学術会議大講堂で「現代の雇用危機を考える」というテーマで開催されます。プログラムの詳細は以下のサイト（日本学術会議）をご覧ください。

<http://www.scj.go.jp/ja/event/pdf2/204-s-1-2.pdf>

（金子理事：渉外・国際）

9. 編集後記

・今回のニューズレターは、重要なニュースが満載です。ひとつは例年よりはやく学会大会の一般発表とラウンドテーブルディスカッション (RTD) の〆切り (2015 年 1 月 9 日) が迫っていることです。そして 2 年ごとの役員選挙の公示が 12 月 18 日に出了——詳しくは 3. 役員選挙について、を御参照ください。

・今期からは現在みなさんがご覧になっているように学会のニューズレターが紙媒体から pdf での電子配信になっています。書式の不統一などこれまでお見苦しかった点はどうかご寛恕下さい。また、書式のみならず記事内容の改善についても、どうぞお気軽に事務局へのメールにてご意見をお寄せください。

・日本保健医療社会学会ニューズレターは第 92 号からは pdf ファイルのメールマガジン形式で配信しています。もしメールマガジンの文字が読めない場合などの受信に問題がある場合は、恐れ入りますが、日本保健医療社会学会事務局まで御連絡ください

<http://square.umin.ac.jp/medsocio/index.htm>

（池田理事・学会広報）

発行：日本保健医療社会学会

編集：学会広報担当（池田光穂）

学会事務局：

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター

jshms-office@bunken.co.jp TEL. 03(5389)0237